

ひふみのあゆみ



ひふみらいと

ひふみらいと 追加型投信/内外/資産複合

2023年9月度 月次ご報告書

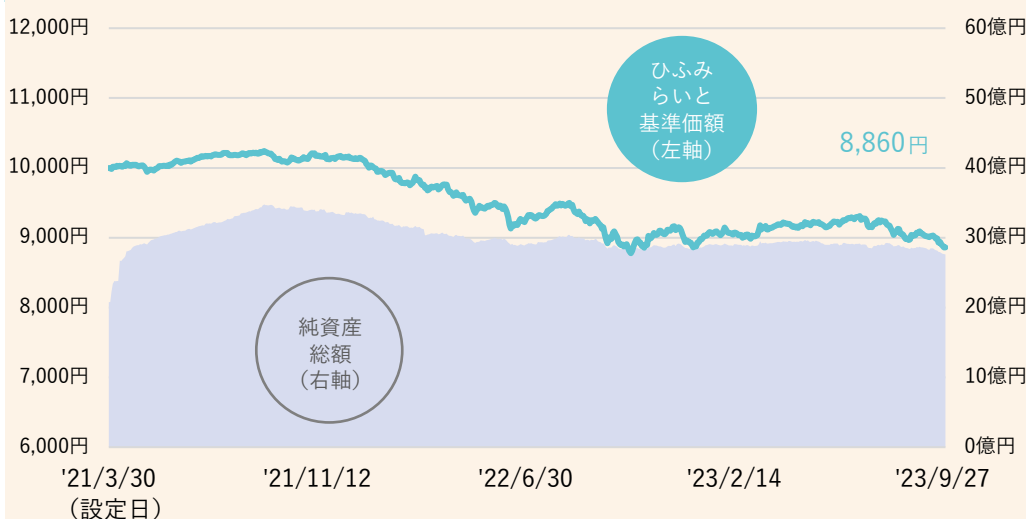
レオス・キャピタルワークスよりお客様へ
資産形成のパートナーに「ひふみらいと」をお選びいただき、ありがとうございます。
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



作成基準日：2023年9月29日

運用実績

基準価額等の推移（日次）



※基準価額は1万口あたりです。また信託報酬控除後の値です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「運用成績」の「設定来」は、設定時の価額（10,000円）を起点として算出しております。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は基準価額変動額（月次）と合わない場合があります。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

※「ひふみらいと」は複数の投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて実質的に債券や株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本の組入比率：「ひふみグローバル債券マザーファンド」90%、「ひふみ投信マザーファンド」5%、「ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）」5%を維持することを目指して運用を行なっています。（市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります）各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用実績」をご覧ください。

運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ひふみらいと	-2.30%	-4.29%	-3.46%	-1.30%	-	-11.40%

ひふみらいとの運用状況

基準価額	8,860円
純資産総額	27.61億円
受益権総口数	3,116,916,851口

ひふみらいと 投資信託財産の構成

ひふみグローバル債券マザーファンド	89.90%
ひふみ投信マザーファンド	4.94%
ひふみワールドファンド*	4.95%
現金等	0.20%
合計	100.00%

分配の推移（1万口当たり、税引前）

第2期	2023年4月	0円
第1期	2022年4月	0円
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次） -209円

〔組み入れファンド別変動要因内訳〕

ひふみグローバル債券マザーファンド	-188円
ひふみ投信マザーファンド	-0円
ひふみワールドファンド*	-17円
信託報酬・その他	-4円

〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕

債券	-178円
株式・投資証券	-25円
為替	-12円
信託報酬・その他	+6円

ひふみグローバル債券マザーファンド 運用状況

ひふみグローバル債券マザーファンドの状況	
純資産総額	217.58億円
組み入れ銘柄数	36銘柄
種別比率	
国債	53.60%
社債	28.75%
住宅ローン担保証券	9.65%
地方債	2.05%
特殊債	1.48%
国際機関債	1.24%
債券先物取引	-16.66%
現金等	19.89%
合計	100.00%

為替ヘッジ比率	
	99.20%

組み入れ上位5通貨 比率	
1 米ドル	46.71%
2 ユーロ	23.84%
3 日本円	22.08%
4 オーストラリア・ドル	2.05%
5 中国元	1.48%

ポートフォリオ特性値	
最終利回り	4.19%
デュレーション	7.1
格付比率	
AAA	29.42%
AA	4.69%
A	54.80%
BBB	7.86%
BB以下	-
資産別比率	
海外債券	74.69%
国内債券	22.08%
債券先物取引	-16.66%
現金等	19.89%
合計	100.00%

組み入れ上位5カ国 比率	
1 アメリカ	47.26%
2 日本	24.93%
3 スペイン	7.47%
4 イタリア	7.25%
5 スイス	2.07%

組み入れ上位10銘柄 比率						
銘柄名	種類	国	通貨	償還日	組入比率	
1 日本国債 (30年)	国債	日本	日本円	2052/12/20	9.09%	
2 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2041/2/15	8.43%	
3 スペイン国債	国債	スペイン	ユーロ	2033/4/30	7.47%	
4 イタリア国債	国債	イタリア	ユーロ	2033/11/1	7.25%	
5 日本国債 (40年)	国債	日本	日本円	2063/3/20	6.23%	
6 米国住宅ローン担保証券	住宅ローン担保証券	アメリカ	米ドル	2053/3/20	5.33%	
7 バンク・オブ・アメリカ	社債	アメリカ	ユーロ	2026/9/22	4.36%	
8 日本国債 (20年)	国債	日本	日本円	2042/12/20	4.13%	
9 三井住友フィナンシャルグループ	社債	日本	米ドル	2027/1/14	4.11%	
10 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2041/8/15	3.64%	

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「ポートフォリオ特性値」は、ファンドの組入債券等（現金等を含む）の各特性値（最終利回り、デュレーション）を、その組入比率で加重平均したものです。なお、債券先物を含めて計算しています。
（Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス株式会社作成）
最終利回りは、ファンドが投資している債券等の特性を示すために各債券の利回りから算出したものであり、ファンドの運用成果を示唆、保証するものではありません。
デュレーションは、金利の変動による債券価格の感応度を表しています。値が大きいくほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※各比率は、ひふみグローバル債券マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「種別比率」「資産別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。なお、ヘッジ目的で先物取引を利用する場合があります。

※格付は、ムーディーズおよびS&Pの格付のうち高いものを採用し、S&Pの格付形式で表示しています。

※「組み入れ上位5カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。また、国際機関等特定の国に分類しない場合があります。

※「格付比率」「組み入れ上位5通貨比率」「組み入れ上位5カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」は、現物資産について表示しております。

※「為替ヘッジ比率」は、純資産総額に対する為替予約評価額と円貨資産額の合計の比率です。売買等の計上タイミングや市況動向により比率が100%を超える場合があります。

ひふみ投信マザーファンド 運用状況

ひふみ投信マザーファンドの状況

純資産総額	7,827.91億円
組み入れ銘柄数	307銘柄
資産配分比率	
国内株式	88.83%
海外株式	5.69%
現金等	5.48%
合計	100.00%

市場別比率

プライム市場	86.03%
スタンダード市場	2.10%
グロース市場	0.70%
その他海外株	5.69%
現金等	5.48%
合計	100.00%

組み入れ上位10業種 比率

1 銀行業	12.07%
2 情報・通信業	11.95%
3 電気機器	11.43%
4 サービス業	5.80%
5 機械	5.07%
6 小売業	4.79%
7 化学	4.28%
8 建設業	4.25%
9 食料品	4.17%
10 卸売業	3.26%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※各比率は、ひふみ投信マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」「市場別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。

※「組み入れ上位10業種比率」は国内株式における上位業種を表示しています。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、東証33業種分類を用いて表示しています。なお、海外株式については「その他海外株」として表示しています。

※「組み入れ上位10銘柄比率」の規模は、基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。

大型(3,000億円以上)

中小型(300億円以上、3,000億円未満)

超小型(300億円未満)

組み入れ上位10銘柄 比率

銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1 楽天銀行	5838	大型	プライム市場	銀行業	2.47%
2 東京エレクトロン	8035	大型	プライム市場	電気機器	2.42%
3 三菱UFJフィナンシャル・グループ	8306	大型	プライム市場	銀行業	2.16%
4 ソニーグループ	6758	大型	プライム市場	電気機器	1.90%
5 日本電信電話	9432	大型	プライム市場	情報・通信業	1.84%
6 三井住友フィナンシャルグループ	8316	大型	プライム市場	銀行業	1.56%
7 インターネットイニシアティブ	3774	大型	プライム市場	情報・通信業	1.39%
8 トヨタ自動車	7203	大型	プライム市場	輸送用機器	1.37%
9 MICROSOFT CORPORATION	MSFT	大型	NASDAQ	その他海外株	1.35%
10 メルカリ	4385	大型	プライム市場	情報・通信業	1.27%

ひふみワールドファンド* 運用状況

純資産総額	195.03億円	投資信託財産の構成	
		ひふみワールドマザーファンド	99.71%
		現金等	0.29%
		合計	100.00%

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※各比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。

※現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「資産配分比率」の株式には、新株予約権を含む場合があります。海外投資証券はREIT（不動産投資信託）等です。

※「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の国は、原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、株式における上位業種を表示し、原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しております。

ひふみワールドマザーファンド 運用状況

ひふみワールドマザーファンドの状況	組み入れ上位10カ国 比率
純資産総額	2,705.98億円
組み入れ銘柄数	164銘柄
資産配分比率	
海外株式	94.22%
海外投資証券	1.97%
現金等	3.82%
合計	100.00%
	1 アメリカ 68.93%
	2 ドイツ 4.65%
	3 イタリア 4.22%
	4 イギリス 2.64%
	5 スイス 2.24%
	6 フランス 2.20%
	7 台湾 1.81%
	8 オランダ 1.72%
	9 アイルランド 1.64%
	10 中国 1.42%

組み入れ上位10業種 比率	組み入れ上位10通貨 比率
1 ソフトウェア・サービス 18.21%	1 米ドル 77.80%
2 半導体・半導体製造装置 16.12%	2 ユーロ 8.81%
3 資本財 11.17%	3 イギリス・ポンド 2.36%
4 自動車・自動車部品 8.30%	4 スイス・フラン 2.24%
5 テクノロジー・ハードウェアおよび機器 7.02%	5 デンマーク・クローネ 1.31%
6 ヘルスケア機器・サービス 4.39%	6 香港ドル 0.99%
7 食品・飲料・タバコ 4.17%	7 ノルウェー・クローネ 0.83%
8 メディア・娯楽 4.14%	8 台湾ドル 0.70%
9 一般消費財・サービス流通・小売り 3.97%	9 中国元 0.66%
10 商業・専門サービス 2.52%	10 スウェーデン・クローナ 0.37%

組み入れ上位10銘柄 比率				
銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
1 FERRARI NV	イタリア	米ドル	自動車・自動車部品	3.71%
2 INTUIT INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.23%
3 DR. ING. H.C. F. PORSCHE AG	ドイツ	ユーロ	自動車・自動車部品	2.13%
4 PALO ALTO NETWORKS, INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.05%
5 AMAZON.COM, INC	アメリカ	米ドル	一般消費財・サービス流通・小売り	1.98%
6 ORACLE CORPORATION	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.95%
7 INTEL CORPORATION	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.94%
8 DELL TECHNOLOGIES INC	アメリカ	米ドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.91%
9 EMERSON ELECTRIC CO	アメリカ	米ドル	資本財	1.81%
10 THE HERSHEY CO	アメリカ	米ドル	食品・飲料・タバコ	1.71%

ひふみグローバル債券マザーファンド 基準価額の推移（日次）



運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	ひふみらいと設定来
ひふみグローバル債券マザーファンド	-2.31%	-4.54%	-4.85%	-3.07%	-	-12.73%

※「ひふみらいと」が直接または間接的に投資している各投資信託証券の基準価額の推移と運用成績を、「ひふみらいと」の当初設定日の前営業日（2021年3月29日）を10,000として指数化して作成、算出しております。

※運用成績は小数点第三位を四捨五入して表示しています。「ひふみらいと設定来」は、「ひふみらいと」の設定日の前営業日（2021年3月29日）（「ひふみグローバル債券マザーファンド」は当初設定時）を起点として算出しております。

※「ひふみらいと」の投資対象ファンドの一つである「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」は、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。ここでは、「ひふみワールドマザーファンド」の基準価額の推移と運用成績を記載しております。

ひふみ投信マザーファンド 基準価額の推移（日次）



運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	ひふみらいと設定来
ひふみ投信マザーファンド	-0.05%	1.83%	13.35%	21.20%	-	3.32%

ひふみワールドマザーファンド 基準価額の推移（日次）



運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	ひふみらいと設定来
ひふみワールドマザーファンド	-3.67%	-3.34%	12.11%	22.98%	-	25.14%

ファンドに組み入れている3つのファンドすべてが下落し、特に組み入れ比率の高い「ひふみグローバル債券マザーファンド」が全体を押し下げたことで、基準価額は前月末に比べて2.30%下落しました。

【ひふみ投信マザーファンド】

9月の日本株は、前半高・後半安となりました。月前半は大型・バリュー株が相場を牽引し、TOPIXは一時年初来高値を更新しました。ところが月後半、米国で開催されたFOMC（連邦公開市場委員会）では政策金利の据え置きが決定されたものの、来年以降の政策金利見通しは引き上げられました。月末にかけては米政府機関の閉鎖リスクも意識され、悪材料が重なって株式が売られたことで、当ファンドの基準価額は0.05%下落して終わりました。

【ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）】

米国では、金利高と原油高が相場の重荷になりました。加えて、全米自動車労組（UAW）のストライキ拡大などで賃金インフレが加速することへの警戒感が高まったほか、債務上限をめぐる米政府機関の閉鎖懸念などから米国株にも売りが広がりました。グローバルに株価が下落したことで、当ファンドの基準価額は3.67%下落して終わりました。

【ひふみグローバル債券マザーファンド】

主要国の金利は上昇する1か月となり、日米独では10年債利回りが年初来高値を更新しました。FOMC通過後もFRB（連邦準備制度理事会）高官からはタカ派（金融引締め）的な発言が相次ぎ、金融引き締めの長期化や米政府機関の閉鎖リスクが債券相場には逆風となったことで、当ファンドの基準価額は2.31%下落しました。

今年も残り3か月となりました。年終盤の季節性が株価の追い風になることなどに期待を寄せながら、引き続きレオス運用チームの総力を結集して全力で調査・運用を行なっていきます。今後ともよろしくお願いたします。

(10月3日)



ひふみらいと
ファンドマネージャー
橋本 裕一

※TOPIXは、全てTOPIX（配当込み）を用いています。TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。TOPIXは、株式会社J P X総研が算出、公表する株価指数です。日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。

※TOPIX等の指数値およびTOPIX等に係る標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIX等に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIX等に係る標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIX等の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、J P Xにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

日銀は9月の金融政策決定会合において金融政策を変更せず、記者会見でも植田総裁はハト派（金融緩和）なスタンスを示しました。一方で、市場はインフレ指標の高止まりとともに、YCC（イールドカーブコントロール）撤廃、マイナス金利解除、資金供給量の拡大方針の修正等、大規模緩和からのさらなる脱却が想定より早まる可能性を意識し、長期金利は上昇しました。期待された国債買入れの減額はなされておらず、ショートポジションの増大を伴って金利が上昇しているため、リスクオフ方向の材料が出た場合に金利が急低下するリスクをはらんでいます。また、植田総裁は講演で「金融政策の目的はあくまでも「物価の安定」であり、日本銀行の財務等への配慮から、必要な政策の遂行が妨げられるということはない」と強調、利上げ幅が限定的になるという一部参加者の見方を退けた格好です。

米ドル長期金利も大きく上昇しました。原油高や国債の需給不安に加えて、FOMC（連邦公開市場委員会）において2024年の利下げ予想幅が従来の1%から0.5%に低下したことで、来年にかけての資金調達金利が高止まることを嫌気した参加者の損切りがあったものと見られます。国債のイールドカーブが織込んである金利は、10年後スタート10年（10年後の時点からさらに先の10年間の金利の見通し）で5.4%程度とかなりの水準に到達していますが、このようなロジックは現時点では通用せず、不安定な状態が続いています。我々は、米ドル債は政府系モーゲージ債等も含めて引き続き魅力的であると考えています。

引き続き全力で運用してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

(9月30日)



ひふみグローバル債券
マザーファンド
ファンドマネージャー
福室 光生

債券ってなに？～債券の基礎知識～【YouTube】

ひふみらいとがひふみグローバル債券マザーファンドを通じて投資している「債券」について、いまさら聞けない基礎知識を約10分で解説する動画をYouTubeの公式チャンネルにて好評配信中です。

専門用語をできるだけ使わずに、当社社員が分かりやすくお伝えしております。

ぜひご視聴いただき、債券運用への理解の一助としていただければ幸いです。



レオス・キャピタルワークス
【投資信託「ひふみ」公式】YouTubeチャンネル
登録者数2万人突破！
チャンネル登録をお願いします！

9月の米国は予想外に物価が下げ止まらず、米国の長期金利も引き続き上昇傾向になりました。それに伴い、FRB（連邦準備制度理事会）による利上げもさらにあと1回以上続くという見通しになっています。米国の株式市場も軟調な展開になり、S&P500も5%近い下げになりました。

一方で、日本の株式市場は米国に比べると堅調で、引き続き金融緩和が続くことに伴い円安の進行が進んでいます。これらは輸出株の比率の高い日本株にとっては相対的にはプラスであり、ハイテク企業や輸出関連株を中心にしっかりした展開でした。

ひふみ投信マザーファンドは、ひふみ目論見倶楽部（みーも）やひふみアカデミーなどでお伝えしてきた、新しい流れと変化に対応したポートフォリオ構築に取り掛かり始めました。具体的には、構造的な供給制約等によるインフレを追い風に、長期的な躍進が期待できる大型株への傾斜と、優良小型株の選別投資により、長期的に高いリターンを出そうとつとめています。ひふみ魅力化計画をこれからスタートさせて、10年目線の投資に力を入れていきます。

これからも全力で運用しますので、何卒よろしく願いいたします。

(10月5日)



ひふみ投信マザーファンド
ファンドマネージャー
藤野 英人

※日経平均株価に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。

※各指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

2023年9月の世界の株式市場は、8月に引き続き下落しました。前半から19日～20日にかけて開催されるFOMC（連邦公開市場委員会）を控えて上値の重い展開が続いていました。FOMCでは市場予想通りに利上げは行なわれなかったものの、年末に向けてはもう1回の利上げ予想実施が据え置かれたのみならず、来年末の金利水準がこれまでの想定よりも高いものにとどまる見通しが示されるなど、想像以上のタカ派見通しが示されました。これをきっかけに長期金利が急上昇し、株式市場も売り込まれる展開となりました。

米国の利上げ開始が示唆された2021年後半の時点では、2022年には利下げが始まると市場は想定していましたが、その想定は実現しませんでした。また、2023年後半には利下げが始まるとの想定も実現しませんでした。現在、市場は2024年には利下げが始まると想定しており、利下げ想定がどんどん後ずれしています。市場参加者の中でも株式市場の参加者はとにかくせっかちで、先を見据えて動く傾向があります。株式市場の参加者の多くは来年の利下げ、ソフトランディング（不況に陥らせることなく物価上昇の抑制に成功すること）を前提に、安定的な物価で堅調な経済が戻る想定で2023年は株式を買い進めてきました。しかし、今の米国の政策当局者は以前のような先を見越したスタンスではなく、足元のデータをより重視しています。物価上昇圧力が完全に抑制される前に、株式市場の参加者が先走って株を買い上げて、資産効果によりむしろ物価上昇圧力が強まりかねないことを、政策当局者は苦々しく見ているでしょう。

持続的で広範囲なより力強い相場の上昇は、物価の安定がかすかに見えてきたときに来ると我々は考えています。短期的な上下には一喜一憂せず、その時に輝く銘柄を探して、日々企業との対話を含めた調査活動を今後も続けてまいります。これからもレオス・キャピタルワークス並びにひふみらいとをよろしく願いいたします。

(10月2日)



ひふみワールドマザーファンド
ファンドマネージャー
湯浅 光裕

※各指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。



米欧の物価減速、利上げ終了も高金利維持姿勢？

世界株にとって金利上昇が重石、転機探る局面へ

9月の世界株は、相対的に堅調であった日本や米国株も含めて後半、調整色が強まりました。主因は、米FOMC(9月20日)における今後の政策金利(FFレート)見通しの上方修正(2024年の利下げ時期の後ズレ観測など)を契機に、米国をはじめとする世界的な金利上昇にあったとみられます。加えて、10月からの米連邦政府機関の一部閉鎖懸念も重石になりました(土壇場で閉鎖回避)。米国の長期金利の上昇は株価調整の他、為替市場でドル高の牽引役になりました。

今後、10~12月期の投資環境面では、米国やユーロ圏の物価減速が鮮明化し、下げ渋り気味であった「食料品・エネルギーを除いたコア物価」も減速基調を強めそうです。米国やユーロ圏の金融政策は物価減速を受けて、利上げ終了(打ち止め確認)となるのか、予防的にあと一回利上げを行なうのかが注目されます。市場では「政策金利を十分に抑制的な水準に引上げ、利上げは終わった可能性が高いものの、特に米国では強すぎる景気や、物価が十分に抑制されるまで現在の高金利を維持するステージにシフトしたのではないか」との見立てです。一方、日本は景況感の改善やデフレ脱却ムードが広がっているとみられますが、9月の日銀会合や植田総裁の記者会見などからはイールドカーブコントロール(YCC)をはじめとする超緩和策の修正を急いでいられないように見受けられます。10~12月期の日銀金融政策は現状維持の可能性が高そうです。また、主要国の名目・実質金利の動向からすると、為替はドル高、円安基調が続きそうです。

企業収益面では、米国S&P500種の予想EPSは2023年4~6月期ボトムに回復見通しです。日本(TOPIX)の予想EPSは相対的に堅調で上方修正余地がありそうです。9月調査の日銀短観では大企業非製造業の業況判断が32年ぶりの高水準を示すなど景況感は総じて堅調です。直近発表となった8月の世界半導体出荷額からは2023年上期を大底に下期以降回復局面に入っているとみられますし、フィラデルフィア半導体株指数(SOX)のEPSは23年4~6月期をボトムに7~9月期以降、アナリストコンセンサス予想で回復・拡大局面入りです。生成AI(人工知能)など新しい技術革新に支えられたイノベーションサイクルの拡大は世界経済の支援・押し上げ要因になりそうですが、一方、米欧をはじめ主要各国の大幅な利上げや長期金利の上昇は景気の下押し要因になります。世界経済に対するこれらプラス、マイナス要因が相殺される形で成長モメンタムは減速基調とみられますが、産業別には明暗分かれる二極化の様相が強まりそうです。

米国株をはじめとする世界株は、金利上昇などを嫌気する形で調整相場、「中間反落(一時的な調整局面)」にあると推察されます。すぐには言えませんが、2023年度下期(10~3月)の6ヵ月間に主要国の物価減速と利上げ打ち止めが明確になる可能性が高く、そうなれば、株価調整の主因になっている「長期金利の上昇」はピークアウトし、金利低下に転じるとみられます。世界株にとっては朗報になるでしょう。一方、リスクは米国(FRB)の金融政策が過剰引き締めに動き、景気後退(オーバーキル)に陥るケースです。

(10月3日)

運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。
多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今月のトピック

好きな家事は何ですか？その理由と、何かエピソードがあれば教えてください。



Fujino Hideto
藤野 英人
代表取締役会長兼社長
最高投資責任者

好きな家事は皿洗いです。しかし私が皿洗いをすると妻に再度洗われてしまうのが悲しいところです。



Yuasa Mitsuhiro
湯浅 光裕
代表取締役副社長
最高執行責任者

お洗濯が好きです。日差しがあり、風がそよぐ日のお洗濯は大好きです。春から夏、今もそうですが屋外に干すと太陽のにおいがして好きです。食器洗い、おトイレ掃除、お風呂掃除などなど身の回りを綺麗にすることはなんでも好きです。



Watanabe Shota
渡邊 庄太
運用本部長
株式戦略部長
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

掃除と片付けが好きです。進捗と改善していくさまが目に見えるので、確実に達成感が得られるのがご褒美になりますね。皿洗いも好きですが、割ると家人に怒られるので気を使います。



Senoh Masanao
妹尾 昌直
運用副本部長
シニア・アナリスト

好きな家事はないですがやる必要があるので、なるべくポジティブな理由を作り、家事は楽しいと自己暗示をかけながらやります。お掃除ロボットのルンバ君も頑張ってくれます。すべての家事から解放される日が待ち遠しいです。



Sasaki Yasuto
佐々木 靖人
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

母親から「これからの男は家事育児に係われないとダメよ」といわれ、色々仕込まれたのでワンオペもこなせます。1番好きな家事は冷蔵庫や保管庫にあるもので献立を考えて家族の食事を作って片づけをしてキッチンリセットまでやって綺麗になったキッチンを見ることです。



Takahashi Ryo
高橋 亮
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

好きな家事は有りません。独身時代は家で料理はせずすべて外食か弁当、洗濯に関わる負担を減らしたがいのために、20代の若い頃から全自動洗濯乾燥機を買ったりクリーニングを活用、掃除の負担を軽くするために狭いフローリングの部屋に住みクイックルワイパーでどうにかなる程度の生活をするなど、家事を最小限にすることしか考えていませんでした。

運用メンバーからのメッセージ



Oshiro Shintaro
大城 真太郎
シニア・アナリスト
ファンドマネージャー

掃除、洗濯、皿洗い。これらの家事をしながら、特定企業に寄らない俯瞰的な業界分析動画を流し聞きすると、企業調査の嗅覚が養われる気がします。料理は頭を使うので苦手です。



Naito Makoto
内藤 誠
シニア・アナリスト
ファンドマネージャー

トイレ掃除です。床掃除はルンバがやってくれるので、トイレは私の担当です。トイレ掃除をすることで自分の心や気持ちまでキレイになった気持ちになります。



Matsumoto Ryoga
松本 凌佳
アナリスト
ファンドマネージャー

自分でご飯を作ることが好きです。レシピを頭に入れて、作る順番を工夫し、徹底的に調理のリードタイムを短縮します。美味しく、あまり頭を使わずに作れるようになるまで、何日も連続で作ります。買い物に行く間、効率的な調理方法を考えたり、よりよい食材の組み合わせを探索したりと、食べている・作っている時間以外もワクワクできるところが気に入っています。

ひふみ公式LINEアカウント



ひふみ

「ひふみ」を運用するレオス・キャピタルワークスはお客様に向けてLINEでの情報提供を始めました。お客様と長期的な資産形成を一緒に行なっていくためにさまざまな情報をお届けします。

こちらから**LINEお友だち登録**をお願いします
またはLINEにて「ひふみ」で検索

LINEでできること

- ✓ ひふみ口座へのログイン
- ✓ 記事コンテンツ、映像コンテンツの配信をお知らせ
- ✓ 当社イベント・セミナーのお知らせと申し込み
- ✓ メニュー画面からYouTube「お金のまなびば！」へ簡単アクセス
- ✓ 随時、ひふみからの記事や動画のお知らせも届きます！

運用メンバーからのメッセージ



Fukumuro Mitsuo
福室 光生
債券戦略部長
シニア・ファンドマ
ネージャー

ちょっとしたアイデアとかコツとかがハマるととても嬉しくなれます。最近上手にできたのは、やきそば。自己満足ですが。



Chiba Toshinobu
千葉 俊信
シニア・ファンドマ
ネージャー

料理はたまにします。中華からフランス料理まで自分の好きなものを作りますが、最近は蕎麦打ちでもやりたいと考えていました。



Takabatake Mikio
高島 幹夫
シニア・クレジット
アナリスト

しよっちゅうやるわけではないですが、窓拭きが好きです。全身を動かすので適度な運動にもなる気がしますし、景色が良く見えるようになるので掃除をした実感があります。マーケットの先行きも同じぐらい良く見通せるようになるといいですね。



Hashimoto Yuichi
橋本 裕一
ファンドマネー
ジャー
兼マーケットエコノ
ミスト

散布するだけ、みたいな掃除（用品）が好きです。疲労せず綺麗にできる便利アイテムが増えてほしいですね。



Miyake Kazuhiro
三宅 一弘
運用本部
経済調査室長

水まきは毎日やっています。お好み焼き、天ぷら、すき焼きは私が担当してつくりますが、結構美味しいです（あまり回数は多くありませんが）。クイックルワイパーでの床掃除は週2回くらいやります。

ひふみらいとの特色

「ひふみらいと」は、投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

- ① 投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。
- ② 原則として、株式に約10%、債券に約90%投資します。

ひふみ投信の特色（ご参考）

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

ひふみワールドの特色（ご参考）

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

- ・ 投資信託証券への投資を通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- ・ 投資信託は預貯金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク (エマージング市場 に関わるリスク)	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡りする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。

お申込メモ

	ひふみらいと	ひふみ投信 (ご参考)	ひふみワールド (ご参考)
商品分類	追加型投信／内外／資産複合	追加型投信／内外／株式	追加型投信／海外／株式
当初設定日	2021年3月30日	2008年10月1日	2019年10月8日
信託期間	無期限		
決算日	毎年4月15日(休業日の場合翌営業日)	毎年9月30日(休業日の場合翌営業日)	毎年2月15日(休業日の場合翌営業日)
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。		
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。		
購入価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額 (1万口当り)		
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払ください。		
換金(解約)単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。		
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 (1万口当り)		
換金代金	換金申込受付日から起算して6営業日目から支払われます。	換金申込受付日から起算して5営業日目から支払われます。	
購入・換金申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行いません。	—	ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行いません。
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。		
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、NISA (少額投資非課税制度) の適用対象であり、2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合にNISAの適用対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。		

お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用：ありません。

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

	ひふみらいと	ひふみ投信 (ご参考)	ひふみワールド (ご参考)
運用管理費用 (信託報酬)	ひふみらいと：信託財産の日々の純資産総額に対して年率0.55% (税込) を乗じて得た額 投資対象とする投資信託証券(ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用))：純資産総額に対して年率0.0022% (税込) 実質的な負担※：純資産総額に対して年率0.5522% (税込) 程度	信託財産の日々の純資産総額に対して年率1.078% (税込) を乗じて得た額	信託財産の日々の純資産総額に対して年率1.628% (税込) を乗じて得た額
監査費用	信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産から支払われます。 ※投資対象ファンドを基本の組入比率で按分した投資対象ファンドの運用管理費用(信託報酬)を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。この値は目安であり、各投資信託証券への投資比率の変更等により変動します。また、投資対象ファンドの変更等により今後変更となる場合があります。		
その他費用・手数料	投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税)、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	
	これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法を具体的に記載することはできません。		

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社：(ひふみらいと) 三井住友信託銀行株式会社
(ひふみ投信) 三井住友信託銀行株式会社
(ひふみワールド) 三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社：レオス・キャピタルワークス株式会社

各ファンドについてのお問い合わせ先


● RHEOS CAPITAL WORKS
レオス・キャピタルワークス株式会社
コミュニケーション・センター
電話：03-6266-0123 メール：cc@rheos.jp
受付時間：営業日の9時～17時
ウェブサイト：https://www.rheos.jp/

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください